

# SUSTAINABLE REPORT 2025

サステナブルレポート



2025年度テーマ

## 「TEAM CONNECT」

～組織力でコトに向かう～



株式会社 山本 清掃



株式会社 エム・アール・シー



株式会社 アイリンク



京都建物総合管理株式会社



株式会社 下屋敷商店



高野清掃株式会社

【発行】株式会社 ヤマモトホールディングス 〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町196-1 TEL.075-603-5500(代) FAX.075-623-5511

<https://yamamoto-hd.jp>



株式会社 ヤマモトホールディングス

# TOP MESSAGE

社長挨拶



株式会社ヤマモトホールディングス  
代表取締役 山本 真也  
Masaya Yamamoto

ヤマモトホールディングスは、戦後間もない1949年(昭和24年)に創業し、京都の街でリアカーを引いて廃棄物の回収から始まりました。

創業者である祖父の山本武雄はお客様からの「ありがとう」という言葉に勇気づけられ、励まされ、「お客様に必要とされる仕事である」という誇りと使命感を胸に事業に励みました。

そして「企業は社会の役に立つことで存在価値があり、利潤を上げることができ、存続していくことができる」という信念を伝え続けていました。

これが、私たち山本清掃の原点です。

この創業の精神のもと、「人」を基盤として、お客様から一番にご指名いただける会社になるため「必要とされる会社」を追及してきました。

**私たちはこれからも、世のため、人のためにあらゆる努力を尽くします。**

ヤマモトホールディングスは株式会社山本清掃、株式会社エム・アール・シー、株式会社アイリンク、株式会社下屋敷商店、高野清掃株式会社、京都建物総合管理株式会社の6法人からなる企業体となります。

一般廃棄物の収集運搬事業から始まり、お客様のニーズに応えることで、中間処理、医療

廃棄物回収、機密文書裁断リサイクル、パソコンデータ破壊、古着リサイクル、大型ゴミ回収、フロン回収、ビル・ホテルクリーニング、建物除菌清掃、墓地・霊園の清掃・管理など資源循環に関する総合サービス企業として事業領域を拡大させてまいりました。

環境問題に対し、ISO14001、SDGs(持続可能な開発目標)をはじめとして、2024年にはSBT認証を取得し、これからの脱炭素社会への貢献をしていきます。

リサイクル事業にも力を入れ、廃棄物を単純に焼却するのではなく、セメント原燃料として出荷するなどCO2を出さない取り組みも進めています。

また産業廃棄物収集運搬業など事業に必要な許認可だけでなく、プライバシーマーク、健康経営優良法人、BCP(事業継続計画)策定など、安全・品質の維持や組織体制の強化に繋がる認証・仕組みを積極的に取り入れることで、お客様からの信頼を得ています。

また地域のこどもたちや学生、JICA(国際協力機構)の海外使節団などの工場見学受け入れなど、地域・社会にオープンにすることで環境問題への関心を高める活動も行っています。

## 100年企業を目指して

創業75周年を迎え、父・山本敏裕の遺志に合わせ、グループの代表が交代しました。

私(山本真也)がヤマモトホールディングスの代表に、山本智也が山本清掃の代表に就任しました。創業からの精神・理念・歴史・お客様を受け継ぎつつ、現状維持にとどまるのではなく、更なる飛躍に向けて資源循環事業を通じて社会課題の解決に取り組んでまいります。

ヤマモトホールディングスグループのブランディング向上、研修などの人材育成、組織体制を強化することで、社員が誇りを持って安心して働ける職場・組織作りに取り組んでいきます。

人材育成には、特に力を入れ、従業員の学びの意識を高めてまいります。

また外部環境に合わせてDX化や自動・省人化の導入などにより業務の効率化を図ります。

私たちはきれいな創造企業として資源循環事業などで産業・文化の発展を支え、廃棄物の適正処理やリサイクル事業の推進により日本の環境を守ります。

**世の中で不要とされるものに光をあて、新たな価値「きれい」を創ることを通じて、これからも社会に貢献します。**

# 創業の精神

ヤマモトイズムの継承

埃かぶって  
誇りもて



創業者 故 山本武雄



会長 山本敏裕

## 経営理念

### 日本のきれいを創る。

私たちはきれい創造企業として、産業・文化の発展を支え、日本の環境を守ります。  
世の中で不要とされるものに光をあて、新たな価値「きれい」を創ることを通じて、社会に貢献します。

#### 私たちが掲げる「きれい」とは

- 環境がきれい
- 話す言葉、行いがきれい
- 心、気持ち、想いがきれい

私たちは物心の両面での「日本のきれいを創る」ことを経営理念とします。

#### 社是(基本方針)

- お客様第一主義
- 「もったいない」の、一歩先へ。

私たちは、従来の常識の枠を越えた発想で今までにはない、新しい価値の発見と仕組みを創り出し、安全で安心な心地よい社会の実現を目指します。時代が求める企業像へ一歩、一歩着実に。

- 世のため、人のためにつくす。

企業は社会の役に立つことで存在価値があり、利潤を上げることができ、存続していくことができる。  
創業者 山本武雄が伝え続けた信念です。私たちはこれからも、世のため、人のためにあらゆる努力を尽くします。

## 私たちが目指すもの

### 百年企業を実現します。

ヤマモトホールディングスグループが理想とする未来を実現するためには、きれい創造企業としてその活動を永く継続しなければなりません。また、社会や従業員に対する責任においても同様です。創業100年そして、その後を見据えた新たな企業構想を進めて参ります。

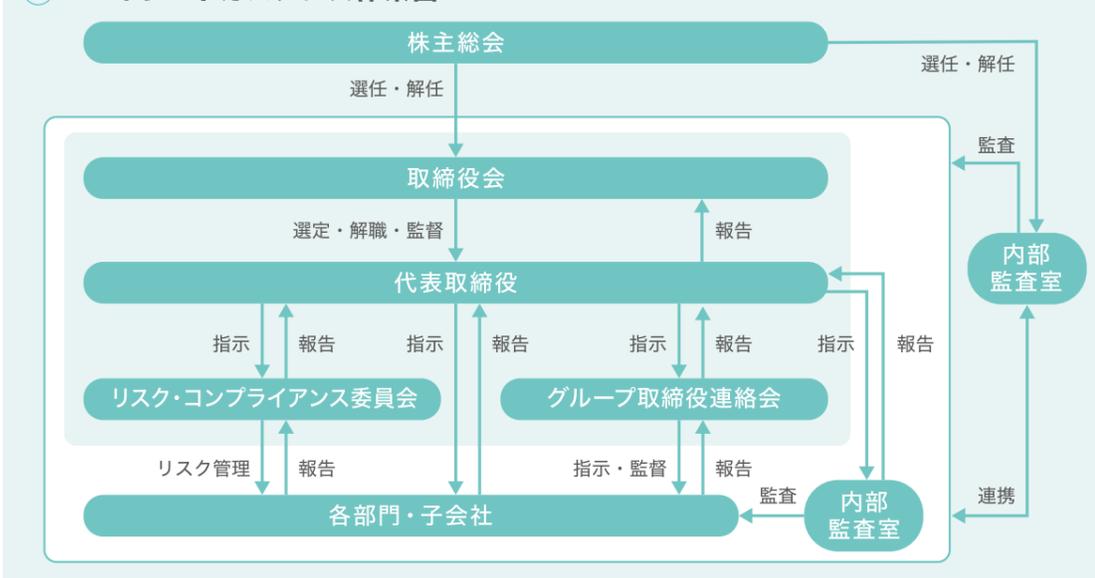
## 経営・ガバナンス

様々な変化に迅速に対応し、経済と社会の両面からグループ全体の発展を追求します

### 経営管理体制

「透明性の確保」「円滑な業務遂行」を重視しています

#### コーポレートガバナンス体系図



#### その他の会議体

- グループ部門責任者会…… 全グループの役職者が集まり、各社の収支実績や活動内容などを報告し、有益な取り組みや問題点などを互いに認識し参考にする事で自社内の活動に見直しや改善を図るための情報共有の場となっております。
- 各社事業会議/定例会…… 会社の方針や課題について協議し、円滑な業務遂行を図っています。

# COMPANY PROFILE

会社概要

商号	株式会社ヤマモトホールディングス
設立	創業 1949年4月 ホールディングス設立 2014年11月11日
従業員数	155名(グループ全体/2024年6月)
売上高	20億円(グループ全体/2024年6月)
主要取引銀行	北國銀行京都支店/京都銀行東九条支店/みずほ銀行京都支店
許可	一般廃棄物処理業許可(京都市、大津市、宇治市、城陽市、久御山町、京田辺市) 産業廃棄物処分業許可 京都市内2拠点(中間処理) 産業廃棄物収集運搬業許可 近畿2府4県(積み替え保管2拠点) 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 京都府公安委員会古物商許可 一般貨物自動車運送事業許可
営業種目	一般廃棄物処理業(収集運搬) 産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業 計量証明事業(京都市伏見区、京都市南区、京都府京丹波町) 清掃管理業 衣類リサイクル業 機密文書出張裁断リサイクル事業 環境関連機器販売 廃棄物・環境コンサルティング業 一般貨物自動車運送業 解体工事業 第一種フロン類充填回収業 不用品の回収、買取、販売ならびにそれらの他行業務
主要取引先	京阪電気鉄道株式会社/株式会社京都銀行/ナカバヤシ株式会社 東本願寺/京都信用金庫/京都中央信用金庫 その他、10,000社以上
仕入先	日野自動車株式会社/いすゞ自動車株式会社

# YAMAMOTO Holdings GROUP

グループ会社紹介

 **株式会社ヤマモトホールディングス** <https://yamamoto-hd.jp>  
〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町196-1 TEL.075-603-5500(代) FAX.075-623-5515

## 株式会社 山本 清掃

〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町196-1  
TEL.075-623-5555(代) FAX.075-623-5511  
<https://www.yamamoto-mrc.co.jp>

☎ 0120-82-0005

### 【きれい創造配車センター】

〒601-8142 京都市南区上鳥羽中河原町11  
TEL.075-693-8105 FAX.075-693-8104

## KCC 京都クリアセンター

〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町195-1  
TEL.075-603-5500 FAX.075-623-5511

☎ 0120-82-0005

### 【KCC サテライトセンター】

〒612-8294 京都市伏見区横大路天王前87-12

## 医療機関の廃棄物処理 ハートメディカル

☎ 0120-810-100

## 「活かす」古着プロジェクト 京丹波ウエス

〒622-0231 京都府船井郡京丹波町豊田鳥居野55  
TEL.0771-89-1551 FAX.0771-89-1515

☎ 0120-05-2951

### 【京丹波ファーム】

〒622-0231 京都府船井郡京丹波町豊田鳥居野84

## 株式会社 エム・アール・シー

〒601-8143 京都市南区上鳥羽麻ノ本町10  
TEL.075-672-1000 FAX.075-681-0110  
<http://www.kyoto-mrc.co.jp>

☎ 0120-17-1381

### 【MRC サテライトセンター】

〒601-8142 京都市南区上鳥羽中河原町47

## I-link inc 株式会社 アイリンク

〒601-8143 京都市南区上鳥羽麻ノ本町10  
TEL.075-694-2222 FAX.075-694-2224  
<http://i-link.jp>

## KYOTATE 京都建物総合管理株式会社

〒600-8176 京都市下京区北町184-2 YHD鳥丸六条ビル3F  
TEL.075-353-6666 FAX.075-353-6667  
<http://kyotate.jp>

## 株式会社 下屋敷商店

〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町7番地  
TEL.075-603-5500 FAX.075-623-5515  
<http://eco-maruyoshi.co.jp>

## 高野清掃株式会社

〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町196-1・3F  
TEL.075-603-5500 FAX.075-623-5515  
<https://eco-yamatoka.co.jp>

## 【ヤマモトHD グループ企業各社加盟団体】

- 特定非営利活動法人 内閣府認定 日本廃棄物再利用研究機構
- 公益社団法人 京都府産業資源循環協会
- 公益社団法人 京都府ビルメンテナンス協会
- 一般社団法人 京都府トラック協会
- 一般社団法人 京都府トラック協会 南支部
- 一般社団法人 全国清掃事業連合会
- 一般社団法人 京都府清掃事業連合会
- 一般社団法人 京都府計量協会
- 一般社団法人 全日本機密文書裁断協会(旧 パピルスネットワーク全国会)
- 京都環境事業協同組合
- 京都府計量証明事業協会
- 京都市ごみ減量推進会議
- 京都商工会議所
- 京都桃山ライオンズクラブ
- 盛和塾
- 日創研 京都経営研究会
- エコ・システム協議会
- 関西環境保全事業協同組合
- 千両松地域エコ協議会

# YAMAMOTO Holdingsの歩み

1930年(昭和5年)

株式会社下屋敷商店  
■下屋敷久直、光井喜六、はな夫妻により創業

1968年(昭和43年)

4月 ■山本清掃に名称変更

1973年(昭和48年)

高野清掃株式会社  
■京都市公認一般廃棄物処理業  
高野清掃を高野弘友が開業する

1989年(平成元年)

1月 ■山本清掃サービスに名称変更



1995年(平成7年)

7月 ■「祇園祭」のごみ回収を開始



1995 ▶ 1999

1996年(平成8年)  
12月 ■京都市産業廃棄物処分業許可(粉碎)取得  
1997年(平成9年)  
8月 ■大谷祖廟清掃業務を開始  
1998年(平成10年)  
4月 ■50周年記念事業  
6月 ■機密文書出張断断事業エコポリスバン導入  
京都市廃棄物再生事業者登録  
11月 ■大規模事業向け 廃棄物管理事業開始  
1999年(平成11年)  
12月 ■京都市公認40tトラック スケール計量事業所開業



株式会社エム・アール・シー  
1999年(平成11年)  
12月 ■MRC駐車場および  
トラックヤードを拡大

株式会社下屋敷商店  
1998年(平成10年)  
■四代目 下屋敷洋子が代表就任

1949年(昭和24年)

■京都市中京区寺町二条にて、  
京都市公認山本衛生開設

1940's ▶ 1950's

1949年(昭和24年)  
■京都清掃組合(土地組合)に加盟



1958年(昭和33年)  
■京都清掃業協同組合認可  
■京都市一般廃棄物処理業許可  
第5号取得



1960's ▶ 1980's

1984年(昭和59年) 1988年(昭和63年)  
4月 ■山本敏裕入社 4月 ■正社員採用に着手

株式会社下屋敷商店

1960年(昭和35年)  
■二代目 光井正雄が京都清掃業協同組合の  
発起人として理事に就任  
1970年(昭和50年)  
■宮家から表彰を受ける  
1989年(平成元年)  
■三代目 下屋敷忠義が代表就任



1992年(平成4年)

4月 ■株式会社山本清掃  
を設立  
(資本金1000万円)

1997年(平成9年)

株式会社エム・アール・シー  
4月 ■マテリアルリサイクルセンター  
(MRC)開設  
■MRC事業部設立



2008年(平成20年)

高野清掃株式会社  
11月 ■高野清掃株式会社に変更  
■高野弘友が代表取締役  
に就任

2000年(平成12年)

株式会社エム・アール・シー  
9月 ■MRC事業部を有限会社エム・アール・シーとして法人化  
■山本敏裕が代表取締役に就任

2001年(平成13年)

7月 ■山本敏裕が代表取締役社長に  
山本武雄が取締役会長に就任

2002年(平成14年)

株式会社エム・アール・シー  
11月 ■有限会社エム・アール・シーを株式会社に組織変更  
■山本秀子が代表取締役に就任

2004年(平成16年)

8月 ■京都クリアセンター(KCC)開設  
■本社所在地を現住所に移転

2012年(平成24年)

高野清掃株式会社  
12月 ■京都建物総合管理株式会社設立  
■山本敏裕が代表取締役に就任

2014年(平成26年)

11月 ■ヤマモトホールディングス設立

2014年(平成26年)

株式会社エム・アール・シー  
11月 ■山本真也が代表取締役に就任

2010 ▶ 2014

2010年(平成22年)

12月 ■プライバシーマーク取得

2011年(平成23年)

4月 ■東日本大震災の復興支援の  
ため岩手県へ援助派遣  
9月 ■台風12号による水害の復旧支援  
活動のため和歌山へ援助派遣  
12月 ■山本清掃創業者 山本武雄の  
「お別れの会」開催

2013年(平成25年)

4月 ■65周年記念事業  
エコポリスバン4号機導入  
9月 ■台風18号による水害の復旧支援  
活動のため 福知山へ援助派遣  
12月 ■本社社屋リニューアル

2014年(平成26年)

9月 ■中間処理施設許可(破碎・切断)取得  
■KCC(京都クリアセンター)  
24時間受け入れ可能となる  
10月 ■きれいな創造配車センター開設



株式会社エム・アール・シー

2014年(平成26年)  
10月 ■M.R.Cサテライトセンター開設

2010年(平成22年)

6月 ■京丹波ウエス開設

2005 ▶ 2009

2006年(平成18年)  
3月 ■混合廃棄物選別機新設  
中間処理業許可(選別)取得

2007年(平成19年)  
4月 ■障がい者雇用開始  
5月 ■食品の残さリサイクル事業開始  
7月 ■京都府清掃事業連合会発起  
全国清掃事業連合会加盟  
パソコンOA 機器買取、  
機密抹消事業開始

2008年(平成20年)  
4月 ■60周年記念事業  
エコポリスバン3号機導入  
10月 ■山本清掃創立60周年  
記念式典開催

2009年(平成21年)  
4月 ■ハートメディカル事業部 設立  
11月 ■環境福祉室設立  
KCCサテライトセンター開設

2015年(平成27年)

株式会社下屋敷商店  
■株式会社下屋敷商店として法人化  
■下屋敷洋子が代表取締役に就任

2016年(平成28年)

株式会社下屋敷商店  
■YHDグループ企業に  
■五代目 屋嘉文太が代表取締役に就任

2015 ▶ 2019

2015年(平成27年)

11月 ■新卒採用開始

2016年(平成28年)

5月 ■熊本地震の復興支援の  
ため熊本県へ援助派遣  
■京都みつばちプロジェクト  
を開始

2018年(平成30年)

5月 ■70周年記念事業 シュレッドスタジオ開設  
■70周年記念式典開催

2019年(令和元年)

■SDGs 取組開始  
11月 ■台風19号で被災された地域における災害ごみ収集活動  
に対して長野市から感謝状を拝受  
■日本赤十字社より感謝状及び金色有功章並びに  
厚生労働大臣感謝状の三つの表彰を併せて拝受



京都建物総合管理株式会社

2015年(平成27年)  
6月 ■京都建物総合管理  
株式会社  
YHD烏丸六条ビル  
へ移転

株式会社下屋敷商店

2019年(令和元年)  
6月 ■新社屋完成  
2020年(令和2年)  
6月 ■「片付け堂」に加盟



株式会社エム・アール・シー

2007年(平成19年)  
11月 ■株式会社エム・アール・シーを  
完全分社化  
■中間処理業許可(破碎)取得  
2008年(平成20年)  
3月 ■株式会社エム・アール・シー  
ISO14001取得

株式会社アイリンク

2009年(平成21年)  
6月 ■有限会社新生環境が  
グループに加わり、  
株式会社アイリンクに  
社名を変更  
10月 ■株式会社アイリンク、  
KES取得

2018年(平成30年)

高野清掃株式会社  
■YHDグループ企業に  
■山本智也が代表取締役に就任

2023年(令和5年)

株式会社ヤマモトホールディングス  
■山本真也が代表取締役社長  
山本敏裕が取締役会長に就任

2023年(令和5年)

株式会社山本清掃  
■山本智也が代表取締役社長  
山本敏裕が取締役会長に就任

2020 ▶ 2021

2020年(令和2年)

5月 ■新型コロナウイルス感染症に関する  
除菌作業の専門チーム立ち上げ

2021年(令和3年)

1月 ■事業継続力強化計画について  
経済産業省から認定を受ける  
■京都クリアセンター(KCC)選別ライン  
大規模リニューアルオープン



2023年(令和5年)

高野清掃株式会社  
■屋嘉祐佳が代表取締役に就任

2023年(令和5年)

株式会社アイリンク  
■山本真也が代表取締役に就任

2022 ▶ 2024

2022年(令和4年)  
3月 ■健康経営優良法人に認定

2023年(令和5年)  
5月 ■ワンフロア化リニューアル



2024年(令和6年)  
5月 ■混合廃棄物選別機、  
六面梱包機導入により  
リサイクル率  
50%→85%まで上昇

6月 ■年間売上高  
13億円達成



# YAMAMOTO Holdings SUSTAINABLE

ヤマモトホールディングスのサステナブル



健康経営優良法人



## ガバナンス Governance

障害者雇用



消防訓練の実施



祇園祭ゴミ回収



災害ボランティア



## 環境 Environment



地域スポーツ支援



## 社会 Social

地域清掃活動



高齢化社会



JICA 海外視察団



大型ゴミ  
遺品整理事業



# ヤマモトホールディングスの廃棄物処理フロー



自社収集運搬・他社持込



## ヤマモトホールディングスの環境宣言

### ISO

環境負荷を低減した業務システムを確立し、株式会社山本清掃では2002年に、株式会社エム・アール・シーでは2008年に、ISO14001の認証を取得。ISOの取組を通じて社内体制を整備し、環境企業として組織が強化されました。



### KES ステップ2

事業活動における地球環境への負荷軽減活動に取り組んでいます。株式会社アイリンクでは、2012年にKES環境マネジメントシステム・スタンダードを取得。現在ではステップ1を経て、ステップ2の認証登録をしています。



共にEMS（環境マネジメントシステム）を構築し環境経営を推進しています。

# ヤマモトホールディングスの健康経営



「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上につながると期待されます。

当社としても心身の健康は従業員の幸せな暮らしに不可欠なものと考え、職場環境づくりに取り組んでおり「健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)」として認定を受けております。



## 重点取組項目

### ☑ ストレスチェック

2024年のストレスチェックにおいての分析結果として外部平均と比べて良好な状態ではありましたがそこから見えた改善点についてのアクションを実施しています。

## 改善点①

### ☑ 職場環境ストレス ▶▶ 騒音、照明、温度、換気など、職場の作業環境に配慮が必要

**課題** 工場内作業における暑さ

**対応** 水冷ベストの導入による作業環境の改善

**概要** 酷暑対策として従来からもスポットクーラーやサーキュレーターを導入やこまめな休憩などの対策は実施していた。これらだけでは不十分と考えさらに快適に作業できるように3拠点(KCC, 京丹波, MRC)の工場で水冷ベスト導入に至った。



## 改善点②

### ☑ 職場環境ストレス ▶▶ 同僚に気軽に相談ができたり、サポートを受けやすい状況

**課題** 良好な結果ではあるが上司のサポートという項目と比較すると低い

**対応** 部署を越えた交流(シャッフル朝礼・合同研修)

**概要** 業務内外の接点が少なくそもそも喋る機会がないという状況があった。関係の質の向上を目指して交流の機会を増やしている。



## ヤマモトホールディングスの有資格者リスト

フォークリフト  
運転技能講習修了証

16人

ショベルローダー等  
運転技能講習

6人

不整地運搬車  
運転技能講習

1人

高所作業車  
運転技能講習

1人

車両系建設機械  
(整地・運搬・積み込み用  
及び掘削用)  
運転技能講習

14人

はい作業主任者  
技能講習

3人



車両系建設機械  
(解体用)  
運転技能講習

10人

玉掛け  
技能講習修了

5人

冷媒回収技術者

3人

小型移動式クレーン  
運転技能講習修了証

4人

運行管理者

3人

化学物質管理者

4人

大型自動車免許

22人

廃棄物管理士

1人

## 社内教育・訓練など

ワークスクロス  
社外研修参加



いい会社マップ  
社内研修実施



消防・救護訓練  
の実施



一般廃棄物安全運転  
講習会開催



重機安全運転  
講習会開催



# 労働安全衛生委員会開催報告

期間：令和5(2023)年7月から令和6(2024)年6月  
 対象参加人数：10名(役員・各部署 一名・委員会メンバー)



開催日	内容概略 (ヒヤリハット報告提出数)
令和5年 7月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 祇園祭前の注意事項</li> <li>■ 地震・台風による大雨等が発生した時の緊急連絡方法について</li> <li>■ 豪雨時の水害ハザードマップの確認</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数8件】</p>
8月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 夏季休暇中の、緊急連絡先の確認</li> <li>■ 台風・豪雨時の水害ハザードマップの確認を行っていますか？</li> <li>■ 夏休み期間、日中に子供の姿を見かけることが増えています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数8件】</p>
9月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 秋シーズンで学校や企業活動が活発になります。特に子供たちには気を付けて！</li> <li>■ 車両事故発生時の、過失割合について(先日のドライブレコーダー映像から)</li> <li>■ 事故時の救護義務について</li> <li>■ ヒヤリハット事例の提出の意義(先日のトラック協会 安全運転講習会から)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数10件】</p>
10月5日	<p><b>【9・27 KCC火災】</b>                  この火災が発生したことから、もう一度私たちが守り実行すべきことを確認したい</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 出勤者の点呼、人数の把握、どこに誰がいるか</li> <li>② 緊急連絡先の確認</li> <li>③ 緊急避難経路・閉まっているドアやゲートの鍵の場所(掲示をする)</li> <li>④ 避難後の点呼、安全の確認</li> <li>⑤ 安全装備の装着(ヘルメットやマスクなど)</li> <li>⑥ 防火設備の準備(防火水槽やポンプ、常設のホースの確認など)</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ パワーゲートリフターの資格取得。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数7件】</p>
11月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 11月は「労働安全強化月間」</li> <li>■ 11/5 社員総会時「労働安全宣言」の採択</li> <li>■ 11/7 KCC「火災消防訓練」を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数11件】</p>
12月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「年末の交通事故防止府民運動」</li> <li>■ 増えつつある不規則な動きの電動キックボードに注意</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数8件】</p>

開催日	内容概略 (ヒヤリハット報告提出数)
令和6年 1月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 能登半島沖地震から学ぶことと対策</li> <li>■ 江蔵顧問：1/2羽田空港で発生したJAL旅客機と海上保安庁機との接触事故について「ヒューマンエラー」が指摘されている。                         <ol style="list-style-type: none"> <li>① 管制官とパイロットとの連絡の取り方が曖昧</li> <li>② 副操縦士が行動指示・内容の復唱を怠ったのではないか</li> <li>③ 『早く行動しないといけない』思い込みから、行動手順を誤る</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故を防ぐ二重・三重の防護壁になりうる確認行動に、穴が開いてしまう。</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">.....</p> <p style="text-align: center;">● 事故トラブルが起きる例 『スイスチーズの法則』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>チェース</b> 加工装置やその周囲に安全対策装置を取り付けた</li> <li>■ <b>穴</b> メンテナンス時に制御装置の設定を変えたままだった / 段取り替え時に不適切な配置になってしまった / 電源を入れ忘れた / 配線を誤って抜き、間違えて接続した</li> <li>■ <b>チェース</b> 安全装置が正しく作動するようチェックシートを作成した。</li> <li>■ <b>穴</b> 新規チェックシートの存在を知らない人がいた / 緊急の段取り替えにチェックを省略してしまった / チェック項目に漏れがあった / チェックシートに誤った、または誤解を与える記載があった</li> </ul> <p style="text-align: center;">.....</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 初出式 会長訓示の「組織力をもって事故を防ぐ」ことを実践</li> <li>■ コロナウイルス・インフルエンザ感染が急拡大</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数10件】</p>
2月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 車両事故や怪我などの労働災害を発生させると日頃から積み上げてきた業務の成果や利益を損なうことになる。</li> <li>■ 一旦立ち止まり数秒安全確認を行うこと、ひと手間増え面倒と思っても安全作業を行うことで事故を防ぐことができることもある。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数10件】</p>
3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構内作業や車両の運転中でも当事者が、気が付きにくいことが周囲の人からは見えていることはよくあります。何とか当事者に危険であることを伝えるようにしたいものです。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 大きな声で注意喚起</li> <li>② ホイッスルで警告音</li> <li>③ 車両ならクラクションやバッシングライト</li> </ol> <p>子供を、送り出す親のように「気を付けて…」の気持ちを、周囲にも送ってください。</p> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数10件】</p>
4月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事故の頻発により経営会議で【緊急事態宣言】が発令されています。すでに各部署で情報共有がされていると思いますが、この期間に重大な過失による事故が発生した時には即刻業務から外れてもらうことになります。そうすることで業務が回らないことや他の従業員に迷惑や負担を掛けることにもなり、ひいては次の危険を引き起こすことにもなりかねません。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数10件】</p>
5月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月も緊急事態宣言下で車両接触事故が発生。再度、各部署においてミーティング等で事故ゼロを目指した取り組みについて確認してください。</li> <li>■ 既に30℃を超える日が発生しています。熱中症の予防に具体的にどう取り組むかを検討ください。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数13件】</p>
6月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 6/18 火曜日 KCC本社棟 消防署立ち入り点検</li> <li>■ 交通事故は、基本は民事問題です。事故直後は、自らの安全確保、相手方の安全確保と人命を優先した行動を取り、事故後は、事故当事者(独り)だけで悩まず、まずは上長への報告を行い組織で対応を。事故後の相手方とのやり取りは慎重に、その場での発言にも責任が伴います。自前で話し合いを進めないようにしてください。</li> <li>■ 今月こそ車両・構内での無事故を目指し、お客様や周囲の皆さんに安心と信頼が与えられる企業であるように努めていきましょう。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【ヒヤリハット報告数8件】</p>

## 地域の取り組み

2023  
11

### 「横大路小学校創立150周年記念 鱧(はも)海道祭り」への参加

祭りの準備・運営の手伝いなどで参加しました。



2024  
1

### 洛水高校の学生の皆様とSDGsカードゲームを実施

環境学習の一環として2030SDGsカードゲームを体験してもらいました。



2024  
3

### 「桂川流域クリーン大作戦」への参加

地域の皆様と一緒にゴミ拾いイベントに参加しました。



2024  
7

### 祇園祭ゴミ回収

1995年から29年に渡り、「祇園祭」のゴミ回収を行っています。



2024  
8

### 「東大谷万灯会」への参加

提灯の設置・吊り下げなど準備に参加しました。





## 中小企業SBT認証

株式会社山本清掃では、2050年のカーボンニュートラル達成に向けた取組に着手し、SBT認証を取得しました。

### 山本清掃の取り組み

株式会社山本清掃では、その取り組みの第一段階としてCO2排出量の見える化を実施。温室効果ガスの排出量を算定し、報告する際の国際的な規準であるGHGプロトコルに基づき、温室効果ガス(GHG)排出量のスコープ1・スコープ2をそれぞれ算出しました。

### 中長期目標

また2050年のカーボンニュートラルを目標とし、中長期的な目標を設定。2030年までに2022年度比でCO2排出量を42%削減を目標設定しています。

### 目標達成のための方法

**Scope1** 「配車ソフトによる高燃費運転の実践」「トラックの定期的入替えによる低燃費化」など

**Scope2** 「工場や事務所での光熱費の削減」「自然エネルギーの導入」「工場作業の効率化」などを会社方針として実践していきます。

その他の施策として  
「社有車への電気自動車の導入」「バイオ燃料への切替」「森林経営」「Jクレジットの活用」など考えられる手段は積極的に行っていきます。

※スコープ1:自社での燃料の使用等による直接排出(弊社では主に運搬車両に使用する軽油・ガソリン)  
※スコープ2:自社で購入した電気・熱の使用等による間接排出(弊社では主に各事業所の電気)

## CO2排出量レポート

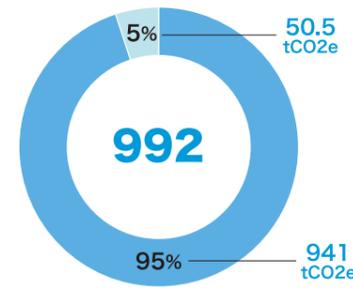
拠点 拠点すべて 期間 2023年7月~2024年6月

オフセット反映量 0tCO2e

再生可能エネルギー率 0%

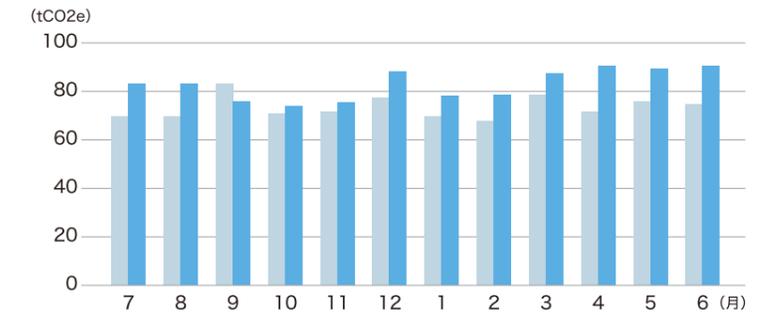
総排出量 992 tCO2e

### 総排出量



●直接排出 ●間接排出

### 月ごとの排出量推移



●2022年度 ●2023年度

スコープ	カテゴリー	CO2e排出量 (tCO2e)	割合
① 直接排出		941	94.9%
② 間接排出		50.5	5.09%
③ その他の間接排出		0	-
	① 購入	-	-
	② 資本財	-	-
	③ その他燃料	-	-
	④ 輸送 (上流)	-	-
	⑤ 事業廃棄物	-	-
	⑥ 従業員の出張	-	-
	⑦ 従業員の通勤	-	-
	⑧ リース資産 (上流)	-	-
	⑨ 輸送 (下流)	-	-
	⑩ 商品の加工	-	-
	⑪ 商品の使用	-	-
	⑫ 商品の廃棄	-	-
	⑬ リース資産 (下流)	-	-
	⑭ フランチャイズ	-	-
	⑮ 投資	-	-
	⑯ その他	-	-
<b>合計</b>		<b>992</b>	-

## リサイクル率

**YAMAMOTO** 株式会社 山本清掃

年 月	受入量(t)	有価物もしくは リサイクル量(t)	埋立量(t)	リサイクル率	
2023年	7月	691	620	71	89.7%
	8月	558	457	101	81.9%
	9月	583	519	64	89.0%
	10月	788	662	126	84.0%
	11月	692	564	128	81.5%
	12月	973	818	155	84.1%
2024年	1月	927	768	159	82.8%
	2月	871	700	171	80.4%
	3月	1112	864	248	77.7%
	4月	1006	870	136	86.5%
	5月	955	818	137	85.7%
	6月	890	735	155	82.5%

**M.R.C** 株式会社 エム・アール・シー  
MATERIAL RECYCLE CENTER

年 月	受入量(t)	有価物もしくは リサイクル量(t)	埋立量(t)	リサイクル率	
2023年	7月	320	273	47	85.3%
	8月	337	285	52	84.6%
	9月	341	272	69	79.8%
	10月	314	270	44	86.0%
	11月	304	258	46	84.9%
	12月	321	274	47	85.4%
2024年	1月	276	235	41	85.1%
	2月	277	239	38	86.3%
	3月	288	243	45	84.4%
	4月	318	288	30	90.6%
	5月	329	280	49	85.1%
	6月	295	253	42	85.8%

## 循環型社会の形成を目指して



## ヤマモトホールディングスのロゴマークの由来



ヤマモトホールディングス全車両の統一デザインです。HDロゴはブルーとグリーンが円でシンクロするデザインです。青色は「空」や「水」をイメージさせます。

多くの生命を育み包み込む「母なる海」をイメージさせ、心の深い部分から「サポート」してくれるイメージがブルーです。

緑色は豊かな父なる大地、「植物」と「生命」のエネルギーを感じ、そこから「回復」というイメージがグリーンです。青空と大地を無限ループが回り続ける。持続可能な未来環境を創る。そんな思いがこのロゴに込められております。

百年企業を  
実現する!!



「もったいない」の、一步先へ。

日本のきれいを創る



株式会社 ヤマモトホールディングス



運命と言うほど大袈裟ではないけれど、足りなくてようやく大切さを知る、そんな小さな廻り合わせ。

大切な家族や仲間も、思えば必ず“縁”から始まります。

創業以来、私たちが大切に続けてきた想いも、支えられた力も、振り返ればすべて縁でした。

人と人、人とモノ、どんな小さな出会いも縁。

だから当たり前だと思わずに、いつも心の中で「ありがとう」と呟きながら。

ヤマモトホールディングスでは、資源を再生し、地球環境を守るという業務に誇りを持って全力で取り組んでいます。

そして今日、貴方と出会えたという、このよき“縁”に感謝して。



<https://yamamoto-hd.jp>